

長野市篠ノ井小松原地区の地すべり災害について

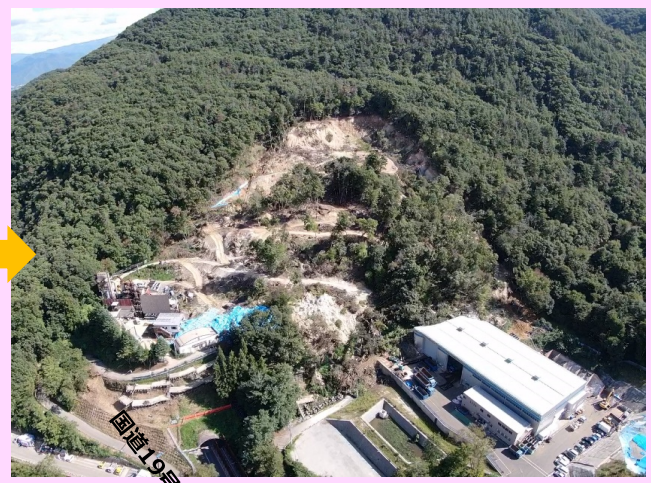
7月6日早朝に長野市篠ノ井小松原地区において大規模な地すべりが発生しました。地すべりの大きさは幅約180メートル、長さ約240メートル、深さ約20メートルで移動土塊量は概ね40万立方メートルにも及び、過去に管内で発生した地すべりと比べても大変大きな地すべりとなりました。

この地すべりにおける主な被害は産廃処理会社の工場1棟、休業中の会社の社屋1棟、国道の電気室1棟で、幸いにも人的な被害はありませんでした。また、地すべり末端部は沢筋を埋めており、一時は水位が4メートル近く上昇し、下流の国道19号への流出が危惧されましたが、仮水路を配置して水位を低下させ安全を確保しました。

7月21日には災害関連緊急地すべり対策事業に採択され、既に着手していた調査設計、応急工事及び本工事を更に加速させ安全度の向上を図っております。対策工事の完成は3年ほど先になる見込ですが、事故防止に十分留意し、着実に進捗させて早期の完成を目指してまいります。



地すべり発生直後の状況（令和3年7月6日9時頃）



地すべり対策の進捗状況（令和3年9月22日10時頃）



工場敷地に迫る地すべりの末端



被害を受けた社屋及び電気室



工場内部の被災状況調査(7/7)



せき止められた沢の湛水状況



地すべりを背に知事説明(7/20)



地すべりの末端下部での応急ホ-リング



地すべり左側の滑落崖



湛水地からの水を迂回させる水路



ボーリングコアによるすべり面観察



地すべり地内での伐採・道路設置

薬師沢石張水路工の草刈りが行われました

8月26日に小川村「薬師沢石張水路工」の草刈りが行われました。地域との協働による石張水路工周辺の環境整備として、毎年3回実施している恒例の草刈りの2回目です。

この日は第1回目の雨降りとは打って変わって晴天となり、熱中症対策で用意したペットボトルも大変な売れ行きとなりました。古林惣代長の御挨拶を賜り、地元の皆さん、砂防ボランティア、工事関係者、行政関係者のおおよそ100名で汗を流しました。



古林惣代長の御挨拶で始まりました



飲み物はいかが？



まだまだ先は長い！



富吉沢石張工付近の草刈り状況



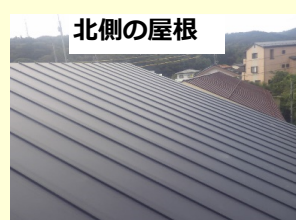
己り地沢石張工付近の草刈り状況

庁舎耐震化・建替工事の進捗状況

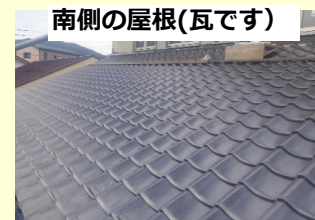
今年3月から始まった庁舎の耐震化・建替工事は狭い敷地での作業も相まって、大きく進捗を図ることがなかなか難しいようです。建替部分の構造は鉄筋コンクリートとなりますが、驚いたことにコンクリートを流し込んだ型枠は1ヶ月間そのままにしておくとのことでした。実際8月にコンクリートを打設後、9月中旬まで型枠が外されることはありませんでした。これにより、きれいな打ち放しのコンクリート表面ができるのかと感心しました。現在は屋根が掛かり、内装や外装に取りかかっています。10月中旬頃に完成予定で、一時執務室をそちらへ移転します。来庁される皆様には、まだまだご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



全体の状況



北側の屋根



南側の屋根(瓦です)



内部の状況



外壁の作業状況

発行 長野県土尻川砂防事務所
〒381-3163 長野県長野市七二会己973-1
電話 026-229-2511 FAX 026-229-1024 E-mail dojirisabo@pref.nagano.lg.jp
<http://www.pref.nagano.lg.jp/dojirisabo/index.html>